

オープンイノベーションCHIBA 2024 協業提案ピッチ

「C1 Cockpit」で楽しむリアル操縦！ 教育とエンタメの未来



2024年10月9日

C1株式会社 代表取締役 林佑樹

<https://www.c1race.com/>

[0471-14-2985 / info@c1race.com](mailto:info@c1race.com)

C1株式会社

技術経営コンサルティング会社。大阪・関西万博2025に出展予定。
万博のテーマでもある「いのちを救う」に貢献すべく、新規6事業を立ち上げ中。

設立：2021年4月

本社：千葉県柏市、支社：大阪府大阪市

主な事業内容

- ・技術経営コンサルティング
主な実績クライアントは、重工業メーカー、自動車メーカー
- ・大阪・関西万博2025のテーマの一つ、
「いのちを救う」に貢献すべく、新規6事業を立ち上げ中。

主な製品：C1 Cockpit

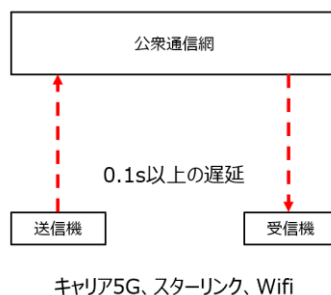
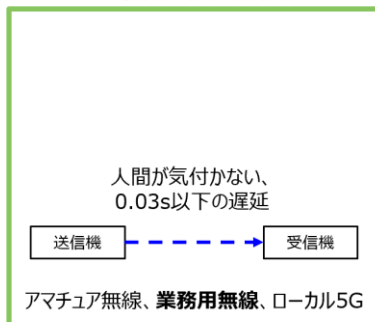
車載映像をARグラスで観ながら1/10マシンをFPV遠隔操縦できる。

映像送信を業務用無線で実施しており、極低遅延。(下図参照)

車用は、ステアリングとペダルで操縦。

汎用は、加えて、操縦桿、スロットルレバー、ラダーペダルを使用して操縦する。(右写真参照)

C1が採用している方式



2024/10/15(火)-10/18(金)、CEATEC 2024 千葉県ブースにて出展予定

C1 Cockpit (自動車、船舶用)



C1 Cockpit (飛翔体、戦車、ロボット用)



小規模RCコース テスト走行

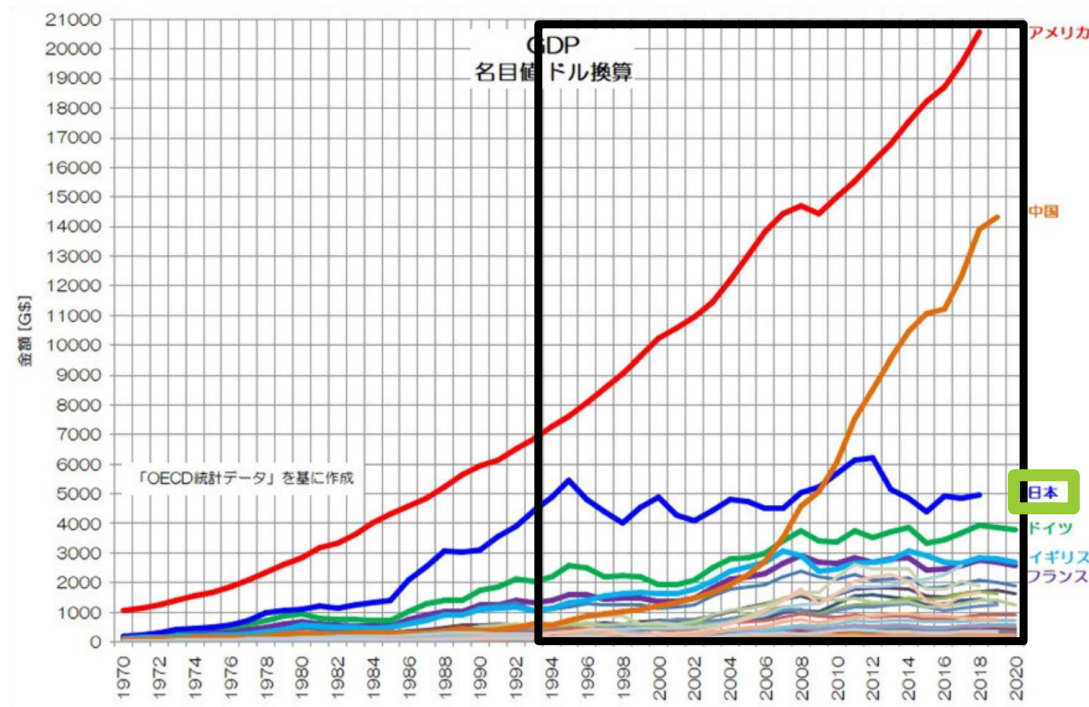
<https://x.com/c1race/status/1705229662279118910?s=20>

子供体験用(速度を20%に制限)

<https://x.com/c1race/status/1718439291653869764?s=20>

背景 日本の経済状況

GDPが30年前と同水準。2020年現在、アメリカは約4倍、中国は約3倍の経済規模。
1人当たりGDPも成長がない。即ち、生活が豊かになっていない。



出典
: https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2104/19/news005_2.html

1人当たりの名目GDP推移(USDドル)

	1994年		2020年
日本	39,953	→1.0倍	39,981
アメリカ	27,674	→2.3倍	63,078
中国	469	→22倍	10,525

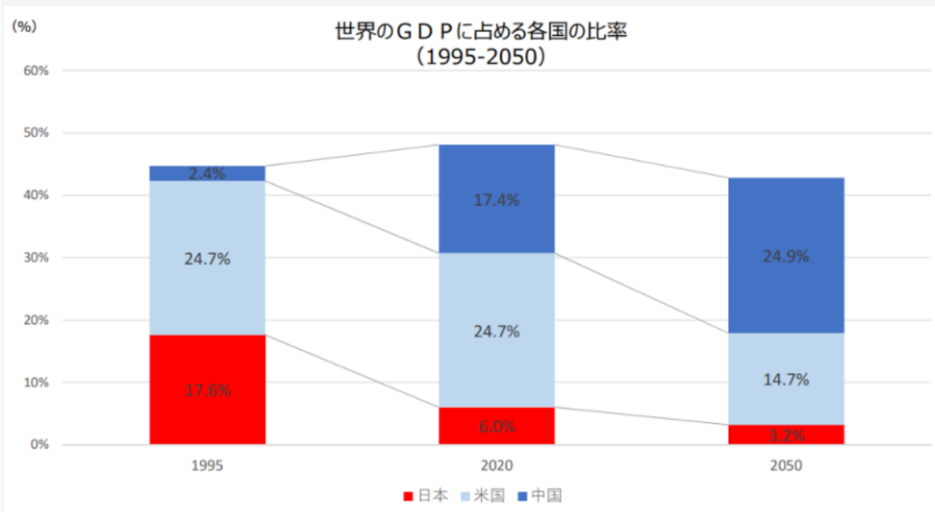
1994年 102円/ドル、2020年 107円/ドル

人口推移(百万人)

	1994年		2020年
日本	125	→1.0倍	126
アメリカ	263	→1.3倍	331
中国	1,199	→1.2倍	1,412

出典：世界経済のネタ帳

世界のGDPに占める日本の割合

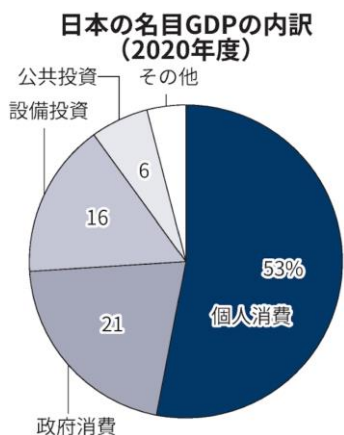


引用：内閣官房 参考データ集

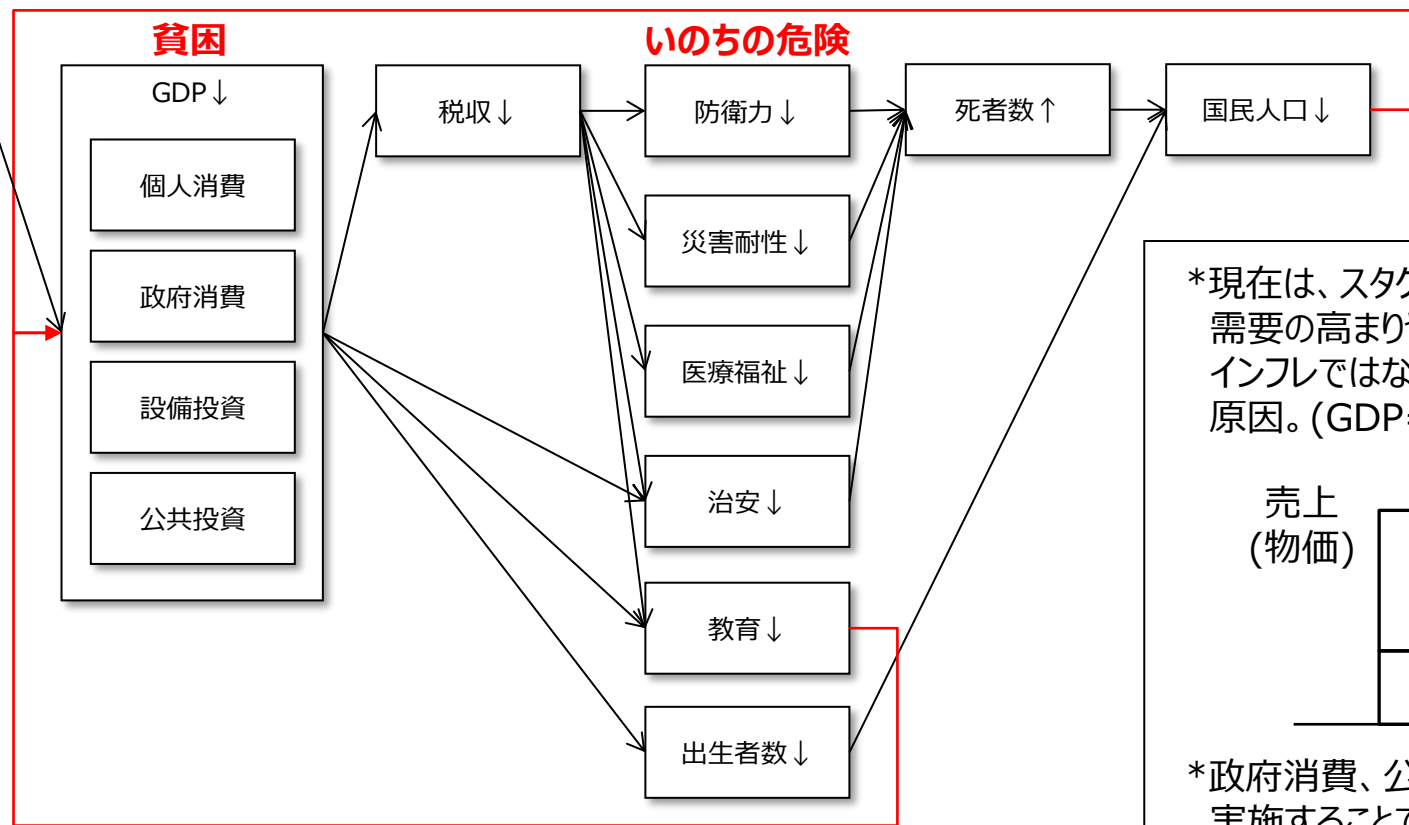
需要「こんなこといいな できたらいいな」
が生み出せない

科学技術力 ~~---~~  需給Gap

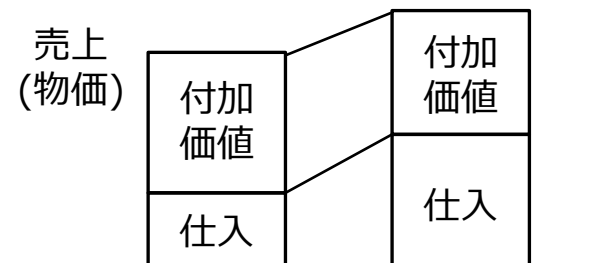
**デフレ・スタグレーション
「需要<供給」
脱却の為
需要を生み出す
必要がある***



出典：日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA186EH0Y1A510C2000000/>



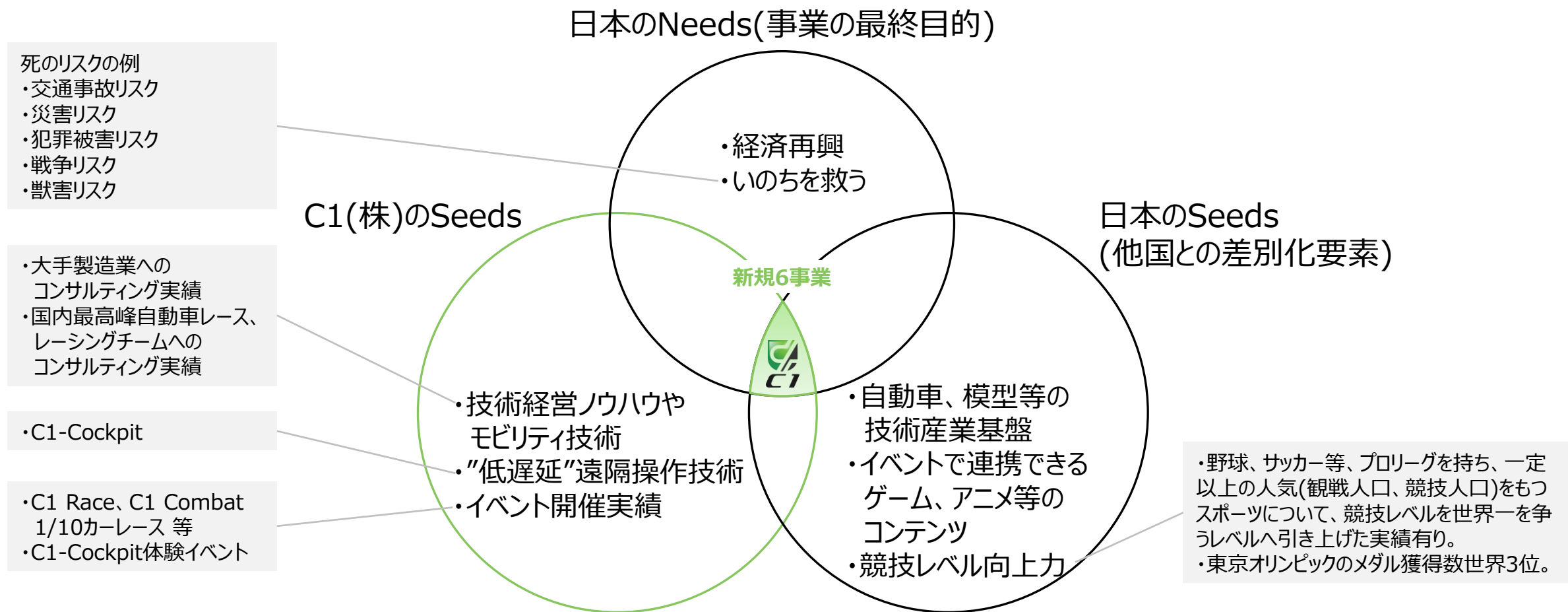
*現在は、スタグフレーション状態であり、
需要の高まりや付加価値の訴求成功による
インフレではなく、海外からの仕入費用の高騰が
原因。(GDP=国内の付加価値の総和)



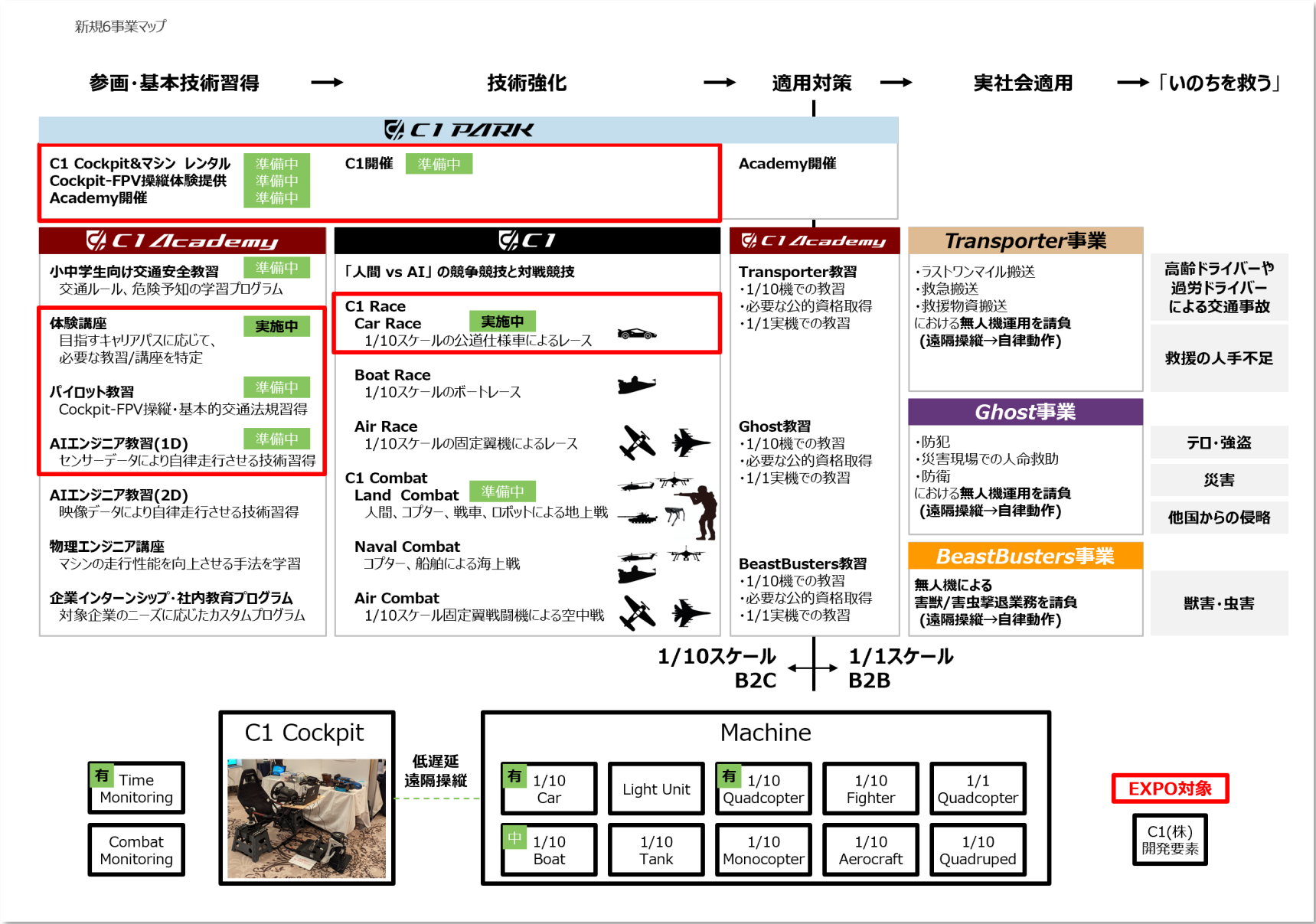
*政府消費、公共投資も、乗数効果が高いものを実施することで、税収が増加し、政府の「債務対GDP比」を改善することが可能。

事業の最終目的とC1(株)を含めた日本のSeeds

今、日本で必要とされている、「経済再興」と、「いのちを救う」ことに貢献したい。
C1(株)を含めた日本のSeedsをフルに活かした実現法として、新規6事業を構想。

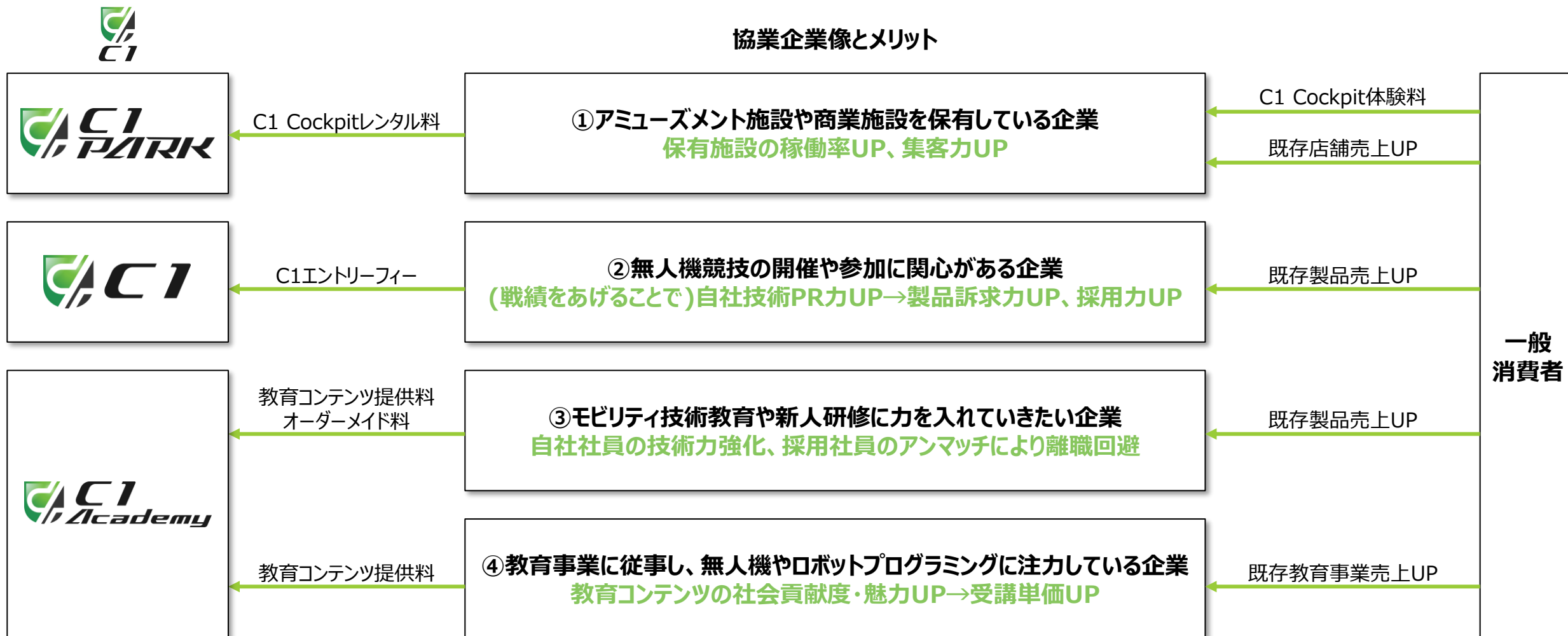


「いのちを救う」為の6事業



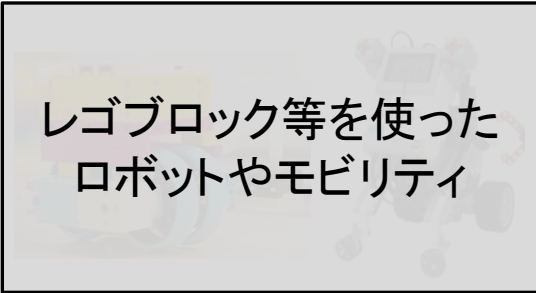
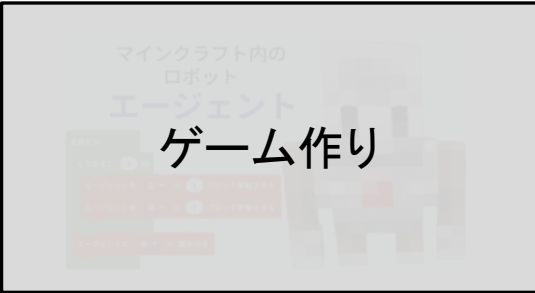
協業要件/簡易ビジネスモデル

現在、立ち上げ着手している3事業に対する、協業要件は4つ。
いずれも、特に先進技術系の既存事業の売上UP・付加価値UPに貢献できる。



C1 Academyの、国内開催のロボットプログラミング教室における位置づけ

リアル、かつ、実車同様の構造をしている1/10モビリティを動かす為、自動車技術も習得可能。加えて、AIエンジニアリングの講座も開講予定。

		教育環境	
		リアル	ヴァーチャル
使用 モビ リティ	実機スケール機		現状、存在していない認識 今後、C1 Academyで補助教材として準備する方向で検討中
	オリジナル教材機	既存 子供向けのAIエンジニア教育はない 	既存 子供向けのAIエンジニア教育はない 

モビリティの物理的技術を磨くことは難しいが手軽にできる

実社会への技術適用に向けた有用性は劣る

C1競技の、国内開催の無人機参加型自動車レースにおける位置づけ

1/10Carを使用する国内レースでは、唯一、「人間vsAI」を実現しているレース
1/1機と比べ低コスト、換算パフォーマンス高。リアルでは物理的技術も磨ける。

			競技環境	
			リアル	ヴァーチャル
使用 モビリ ティ	1/10 機	AI	KAIT Racer GP 自動運転ミニカーバトル 神奈川工科大学主催。 C1スポンサード。 優勝チームへC1出場権。 トヨタ技術会主催。 上位チームは C1へ出場中。	ヴァーチャルでは スケール機は使われない
		FPV (遠隔操縦)	C1 現状C1以外のFPV大会は存在していない認識	
	1/1 機	AI	jsae 自動運転AIチャレンジ 自動車技術会主催。予選はヴァーチャル。 決勝は、2023年まではゴルフカート、 2024年はEVカートで、 人間とも対決する形で開催予定。	VML 今後の連携は選択肢か
		FPV(乗車)		GT GRAN TURISMO 7 今後の連携は選択肢か

モビリティの
物理的技術を
磨くことは難しい
が手軽にできる

マシン、場所、
全てが1/10と比較して
高コスト

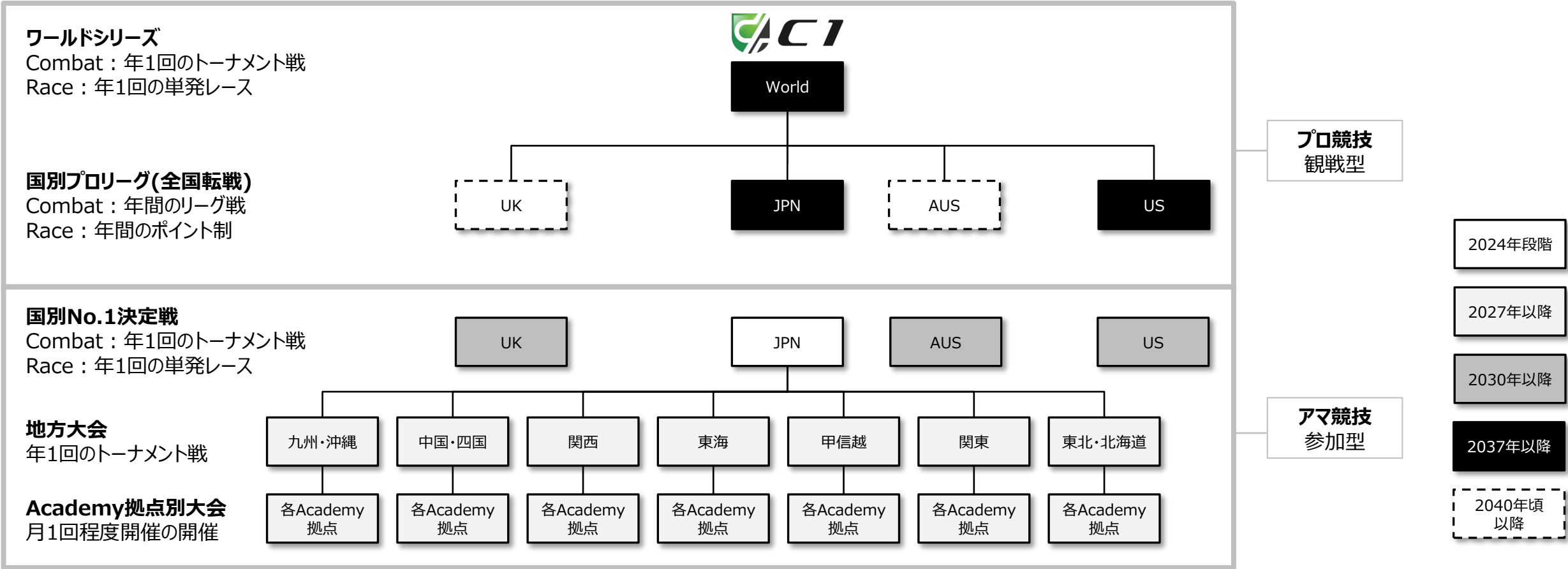
ドライバーは
死傷リスクをはらむ

C1競技の今後の展開

野球は約200年前に生まれ、プロリーグ成立まで30-40年ほどかかった。
C1は、2022年に生まれ*、15年(2037年)でプロリーグの成立を目指す。

2037年段階の構想

*1/10自動運転カーレースは、2010年頃から開催されていた



C1 Cockpitとマシンの、今後の展開

現在、自動車、クワッドコプターをFPV遠隔操縦可能。
2025年までに、ボート、固定翼機もFPV遠隔操縦可能にする予定。

C1 Cockpit
(自動車、船舶用)



C1 Cockpit
(飛翔体、戦車、ロボット用)



1/10 Race用	1/10 Combat用	1/1 BeastBusters用
有  2025年度末段階 目標	赤外線式コンバットシステム(開発中)搭載 2025年度末段階 目標	2025年度末段階 目標
中 		
中  中  	有     	

